

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		1-	12
事業名	災害対策経費	会計	款	項	目
政策	8 安全と安心を守るために	一般	9	1	4
施策	8-1 消防・防災対策の充実	課名	総務課		
		係名	防災対策室		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	防災訓練を通じ、住民の防災意識の高揚を図り、災害発生時において速やかに住民自身が自助の行動をとれるようにする。
事業内容	防災訓練を通じ、住民の防災意識の高揚を図り、災害発生時において速やかに住民自身が自助の行動をとれるようにする。 自治会・自主防災組織の活動をサポートするため、自主防災活動補助金の交付等支援を行っている。 災害対策用備蓄物資を計画的に進めている。 また、対象世帯（65歳以上のみの世帯）からの申請により、家具転倒防止器具の設置を行い、災害時における生命の保護に努める。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	地域防災訓練の実施件数	5			件		15
2	地区防災計画策定地区数	0			地区		1	
3	防災対策として食料、飲料の備蓄をしている町民の割合	70			%		↑	
4								
5								
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			54,919		17,640	27,343		
財源 内訳	直接事業費 A		51,217		13,584	23,533		
	うち一般財源		48,401		7,893	15,451		
人件費 (千円) B			3,702		4,056	3,810		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.55	3630	0.56	3,696	0.55	3,630
	臨時職員 (人・千円)		0.04	72	0.2	360	0.1	180

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	各自治会毎に地区防災計画の策定を進める。 H29県が示した洪水浸水想定区域に現在の防災倉庫が含まれたことから、災害対策用品の備蓄拠点となる新防災倉庫建設の検討が必要。	③取組の課題	住民への災害対策意識の向上 新防災倉庫建設用地問題 コロナ禍での防災訓練等の実施
②R3年度に実施した取り組み	家具転倒防止補助及び自主防災活動事業補助金の交付	④今後の改善計画	地区防災計画、個別避難計画等の作成 新防災倉庫建設